

はこでみ職員研修25を行いました。

今回は、「夢実現のプロセス」をテーマに研修を行いました。

内容は、まず第一に職員自身が実際に実現した夢や目標について、ワークシートを使って「実現までのプロセス」をまとめ、職員間で発表してもらいました。そして次に、そのワークシートの内容をより分かりやすい形にまとめ、研修後にそれぞれの事業所に戻り、利用している子どもたちに「職員がかなえた夢」と題して発表してもらいました。

職員の実現した夢として、「海外旅行に行った！」「資格を取得した！」「10キロのダイエットに成功した！」「一人暮らしを始めた！」「部活で県大会に出場した！」「ピアノが弾けるようになった！」「一輪車に乗れるようになった！」などなど、幼少期から現在までの間に実現した多彩な夢や目標が次々と発表されました。

今回の研修の一番の目的は、職員それぞれが自分の夢や目標を実現する為に行なった事や努力した事、実現までに要した時間、協力してくれた人、諦めなかつた気持ちや辛い時の乗り越え方、実現した時の気持ち、実現した後の変化、そして、自分の経験を踏まえて子どもたちに伝えたい事などを実体験を通して自分の言葉で子どもたちに伝える事です。

ただ「夢や目標を持ちなさい」と漠然と言うだけでは子どもたちの心には響きません。しかし、実際に夢をかなえた張本人からの真実の言葉であれば、説得力を持って子どもたちの心に響きます！

大人や支援者としての教育的な立場からの言葉だけでなく、子どもも大人も関係ない同じ人間としての言葉かけを意識することは、発達特性を持つ子どもたちへの支援において必要不可欠です。

これからも私たち「はこでみ職員」は、子どもたちに夢に向かって進む希望とパワー、具体的な準備の見通しなどを伝え、人生の先輩としての見本を示し、今後の成長のお手伝いを全力で行なっていきます。

